

令和6年度 遠野市緑化祭「里山フェスタ2024」

令和6年6月15日（土）快晴の中、遠野市宮守町下宮守の市有林を会場に、遠野市内7校の森林愛護少年団と一般参加者を含め総勢361名が参加し、遠野の豊かな木材資源を各世代で受け継ぎ、循環利用していく「親子4代で作る森林（もり）づくり」をテーマに遠野市緑化祭「里山フェスタ2024」が開催され、約2,000本のカラマツの植樹が行われました。



当日は主催者を代表して遠野市長、来賓を代表して萩野県議会議員の挨拶の後、宮守小児童が元気一杯に「みどりの誓い」を宣誓、開会式が行われました。

引き続き、フェラーバン、チャザウルスロボなど高性能林業機械とドローンの実演があり、普段見ることのできない最新の林業機械に子供も大人も興味津々でした。



その後、12班に分かれて植樹がスタート。慣れない鍬（くわ）を使って大粒の汗を流しながらカラマツの苗を丁寧に植樹、記念標柱の建立、参加者全員によるドローンでの記念撮影の後、全森林愛護少年団の各代表1名による「これからも緑を大切に守り育てたい」などの頼もしい感想の後、多田市議会議員による講評、遠野支署長の閉会の挨拶をもって全日程を無事終了しました。



当該地域は松くい虫被害が発生しており、カラマツの植樹による樹種転換に取り組んでいます。また、毎年度、同規模で植樹活動を行っている市町村は多くありません。

今後も遠野市民と一緒に植樹活動を通じて、自然の再生、森林の大切さを育み、遠野の豊かな木材資源を各世代で受け継ぎ、循環利用していく取組を地域の皆さんとともに取り組んでまいります。

（岩手南部森林管理署遠野支署：尾留川）